

みやまの風



両方の園にアクセスしていただき閲覧数のアップ、情報の共有に、ご協力ください。



寄 松田

令和6年4月10日(水)発行 園長 津田 将翼

写真のカラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

10の姿 ～始業式、入学式から～

春風が心地良く吹き、身も心も緩めてくれる季節となりました。ソメイヨシノをはじめ、松田町の花々が一斉に咲き始め、春の穏やかな気候に新年度の希望の光を当ててくれているようです。

4月8日は、始業式でした。雨予報をくつがえし、穏やかな日差しのととても気持ちの良い日でした。

たった3名ですが、進級したという自覚と喜びが、子どもたちの表情を頼もしいものにしてきていました。ひとつひとつの言葉に、しっかりと自信をもって反応してくれました。

「おはよう」「ありがとう」「あそぶ」「ごめんなさい」「ごはん」

入園式に見本になってもらおうと、始業式のときに復習をしました。

「最初の言葉は、『お』だったよね。」

「おさない」

と、すぐに答えてくれました。昨年度、繰り返し避難訓練をやった成果でしょうか。子どもたちの中には、「おさないか^{けない}しゃべらないも^{どらない}」の約束がしっかりと残っているようでした。本当は「おはよう」と言ってほしかったのですが、これも大切な言葉です。すぐに大きな声で反応してくれた子どもたちに敬意を表したい気持ちになりました。

寄幼稚園では、少人数であるからこそ、自分自身を伸び伸びと表現できる環境にあります。教師もそれを大切に、子どもたちが自由に表現できる環境設定に努めています。そのような成果が、こんな姿に表れていることを嬉しく思いました。

翌日の入園式は打って変わって、どしゃぶりの雨でした。しかし年長さん、年中さんがしっかりと見本になってくれて、素敵な入園式になりました。

緊張している様子だった3名の新入園児の子どもたちも最後までがんばって参加することができました。

右は、昨年度も紹介させていただいた「幼稚園教育要領」に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」です。

「10の姿」は、小学校における各教科の到達目標のようなものではなく、植物が根っこから吸い上げる栄養のようなものです。

これらは、個別に発達するのではなく、相互に関連し合って積み重ねられていくもので、

始業式、入学式にもこれらの栄養がたっぷりと吸い上げられていることを感じました。



今年度も、心の栄養を蓄えていきます。